

人材不足の
悩みを解消!

多様な若者の



理解・活用セミナー



2025年 **1/30** 木 13:30~15:00
(受付13:15~)

場所 岐阜商工会議所1A会議室(岐阜市神田町2丁目2)

対象 市内に事業所を持つ経営者・人事担当者等

参加費
無料

定員15名

申込者多数の場合は
抽選となる場合があります

多様な若者を
採用したい

採用してもすぐに
辞めてしまう

働きづらさを抱える若者に
どんな仕事を任せるのかわからない

「若者が採用できない…」岐阜県の有効求人倍率は全国でも屈指であり、若者の採用と育成は企業にとって喫緊の課題です。一方で、大学を卒業しても就職できない働きづらさを抱える若者がいます。本セミナーでは、「コミュニケーションが苦手」「グレーゾーンの傾向がある」など働きづらさを抱える若者を企業においていかに活用していくのか、最新事例をお伝えします。

プログラム

講演 13:30~14:30

「多様化する大学生の実態と理解」

岐阜大学 保健管理センター准教授 堀田 亮氏

「障がいのある若者が活躍できる職場づくり」

トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 事業開発室／安全健康推進部 阿部 和由氏

トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 事業開発室／モノづくり開発統括部 主幹 半田 達郎氏

パネルディスカッション 14:30~15:00

「多様化する若者の働き方と職場環境」

参加特典

本セミナーにご参加頂いた企業様限定で、

若者人材の採用・育成の課題や悩みについて、
(一社)サステイナブル・サポートのコンサルタントが
後日個別に相談を承ります(希望者のみ・無料)。



お申し込み方法

QRコードからお申込みください。
(申込期限:1/28(火))



<https://forms.gle/XvDeR8cWEMqLxfUj7>

主催 岐阜市 経済部 労働雇用課

受託者 一般社団法人サステイナブル・サポート

TEL 058-216-0520 mail career-pro@sus-sup.org



登壇者ご紹介



岐阜大学で学生の相談支援を担当している岐阜大学の堀田亮准教授と、トヨタ自動車の社内新規事業創出プログラム「ミハナプロジェクト」において企業の障害者支援に取り組まれている阿部和由氏・半田達郎氏をお招きします。

プロフィール

岐阜大学 保健管理センター 准教授 **堀田 亮氏**

道産子。筑波大学大学院3年制博士課程修了後、2014年より現職。

博士(心理学)、臨床心理士、公認心理師、大学カウンセラー。

カウンセラーが本職だが、気がつけば障害学生支援の魅力と可能性に惹かれ、今はハイブリッドな支援者を目指して奮闘中。主に精神、発達障害学生の心理、修学、移行支援を中心に、学内外の連携体制の構築やイベントの企画にも精力的に取り組んでいる。「支援は引き算」がモットー。



トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 事業開発室／安全健康推進部 **阿部 和由氏**

トヨタ自動車に入社後、一貫して自動車製造現場で塗装の技術員として工程改善や新型車製造準備に従事。現在19歳になる重度知的障がいの息子の将来ため社内外で就活を繰り返すも全く受け容れられない現実に驚愕。ならばと2021年に製造工程での改善手法を活用した雇用機会創出事業モデルで社内公募に応募して現在に至る。

「自分だけは絶対に最後まで君を“ミハナ”さない!」の親父の誓いをこのミハナ事業に込めて、これまでに無い“雇用主企業にも雇用して良かった”と実感して頂けるサービスの事業化に取り組んでいる。



トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 事業開発室／モノづくり開発統括部 主幹 **半田 達郎氏**

トヨタ自動車に入社後、自動車の変速機やエンジン部品の製造/生産技術に従事。

社内新規事業創出プログラムにて企業への障がい者雇用支援に取り組む「ミハナ」の製造工程での改善手法を活用して雇用機会を提供するという考えに共感し、取り組みに参加。主にビジネスモデルの検討や事業計画の策定やモノづくりの知見や人脈を生かした治具製作を担当。

強い意志を持った阿部と共に、プロジェクトの事業化を目指して取り組んでいる。



一般社団法人サステナブル・サポート 代表理事 **後藤 千絵氏**

2015年一般社団法人サステナブル・サポートを設立、代表理事に就任。同年10月就労移行支援事業所「ノックス岐阜」を開始、発達障害や精神障害のある人の就労支援事業所として地域トップクラスの就職者数を輩出。2017年より予防的支援として卒業後に孤立するリスクの高い学生の支援「キャリア支援プログラム」を開始。現在、「誰ひとり取り残さない支援の実現」をめざし、既存の福祉制度の対象とはならないが支援が必要な層への支援スキームの構築に取り組む。



いま、多様な人材の活用は経営戦略の一環として考えられています。経済産業省は、「多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営」をダイバーシティ経営と定義し、推進しています。

今後、ますます人材不足が懸念される中で、多様な人材の採用・活用に取り組んでみませんか?ご参加をお待ちしています。